

10/9/1

DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

009937377 **Image available**

WPI Acc No: 1994-205089/199425

XRAM Acc No: C94-093286

XRPX Acc No: N94-161644

Package for housing sanitary napkin - comprises tubular water
repelling
bag having cut opening at one side edge and yarn sealed in the
opening.

Patent Assignee: ONO K (ONOK-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 6142136	A	19940524	JP 91142262	A	19910401	199425 B

Priority Applications (No Type Date): JP 91142262 A 19910401

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 6142136	A		4	A61F-013/15	

Abstract (Basic): JP 6142136 A

A package for a sanitary napkin comprises a tubular water-
repelling
ba having a cut opening at one side edge and yarn sealed in the
opening; one end of the yarn is open and the other end fixed to the
bag.

USE - Used for housing sanitary napkins.

Dwg.0/9

Title Terms: PACKAGE; HOUSING; SANITARY; NAPKIN; COMPRISE; TUBE; WATER;
REPEL; BAG; CUT; OPEN; ONE; SIDE; EDGE; YARN; SEAL; OPEN

Derwent Class: D22; F07; P32

International Patent Class (Main): A61F-013/15

File Segment: CPI; EngPI

Manual Codes (CPI/A-N): D09-C02; F04-C01

?

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-142136

(43)公開日 平成6年(1994)5月24日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 13/15		7603-4C	A 6 1 F 13/ 18	3 7 0
		7603-4C		3 8 3

審査請求 有 請求項の数2(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-142262

(22)出願日 平成3年(1991)4月1日

(71)出願人 591138636

小野 清美

千葉県千葉市あやめ台3番12棟502号

(72)発明者 小野 清美

千葉県千葉市あやめ台3番12棟502号

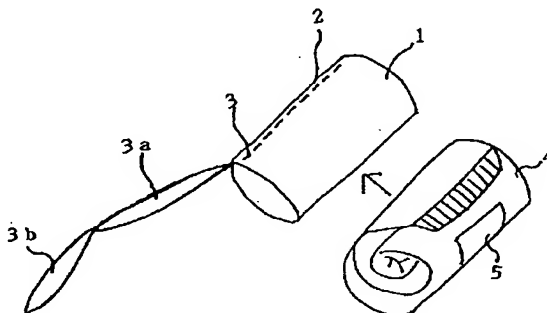
(54)【発明の名称】 生理用ナプキン封入包装体と

その処理方法

(57)【要約】

【目的】 月経はあくまでプライバシーの問題であるが、ナプキン交換に行くことで秘密が守れにくい状況を保護し、かつ、日和見感染防止のために月経処置は衛生的に行えるようにすることを目的とする。

【構成】 円筒形に形成したビニールなどのような発水性のある材料からなり、その外周縁の一部の長手方向に形成した切り口に糸を封入し、その一端は開放状態とし、その他端は固定した生理用ナプキンの包装体の中にナプキンをロール式に封入し、開放状態でできる方の糸の部分を引っ張り包装体の切り口を開き、ナプキンを取り出すと、包装体と糸はハントバックのような形となり、調度包装体と糸で輪になった状態になり、その輪の中に使用済みのロール式に巻いたナプキンを輪ゴムを掛けるように回しナプキンの開くのを防止するロール式処理方法。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 円筒形に形成したビニールなどのような発水性のある材料からなり、その外周縁の一部の長手方向に形成した切り口に糸を封入し、その一端は開放状態とし、その他端は固定した生理用ナプキンの包装体。

【請求項2】 請求項1の包装体にナプキンをロール式に封入し、切り口は糸で封入されているが一端は開放状態とし他端は固定しているが、その開放状態にできる方の糸の部分をつっぱり包装体の切り口を開き、ナプキンを取り出すと、包装体と糸はハントバックのような形となり、調度包装体と糸で輪になった状態になり、その輪の中に使用済みのロール式に巻いたナプキンを輪ゴムを掛けるように回しナプキンの開くのを防止するロール式処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、女性の月経への羞恥心とその処置の手間を配慮しながら月経管理を衛生的に保持できる生理用ナプキン封入包装体とその処理方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 現在のナプキンは3つ折りにして包装体に封入されているためにかさばる。また、ナプキン交換のためにトイレに行く場合、女性たちは手の中にナプキンがおさまらずにはみ出るので、ナプキンを持っていることが分かる。故に、男性や同僚などの周囲の人の目を気にしながらこそそと、トイレまでナプキンを隠し持って行かなければならない心理的圧迫がある。さらに、やっとトイレに持っていったナプキンを置いておく棚がないために、この新しいナプキンをトイレの床やトイレトーパーホルダーなどの上に置き、ナプキンが不衛生に取り扱われやすい状況が起きている。やっと交換した使用後のナプキンはナプキンの入っていた包装体に入れるように指示されているが、使用後のナプキンは曲がったり形が異物になっているために元のナプキンの包装体にうまく入りにくい。故に、ナプキンは経血のついたまま汚物入れに捨てられトイレが不潔になり、他人にも不愉快さを感じさせていた。従って、生理用ナプキンは羞恥心を感じることなく衛生的に使用され、かつ、衛生的な処理をすることが望ましい。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 解決しようとする問題点は、ナプキン交換時の月経羞恥への配慮と処置が不衛生になりやすく、その包装体をごみとして捨てるのでトイレを汚くする点である。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、円筒形に形成したビニールなどのような発水性のある材料からなり、その外周縁の一部の長手方向に形成した切り口に糸を封入し、その一端は開放状態とし、その他端は固定した生

理用ナプキンの包装体とし、その中にナプキンをロール式に封入し、開放状態にできる切り口の方の糸の部分をつっぱり包装体の切り口を開き、ナプキンを取り出すと、包装体のハントバックと糸のバックのとのような形となり、調度包装体と糸で輪になった状態になり、その輪の中に使用済みのロール式に巻いたナプキンを輪ゴムを掛けるように回しナプキンの開くのを防止するロール式処理方法。

【0005】

【作用】 ナプキンを使用する時はロール式に封入した円筒形の包装体の一端を切り、切り口を開けてからナプキンを取り出し、その包装体と糸を用いてロール式に使用後のナプキンを巻き、ナプキンを輪ゴムを掛けるように回してナプキンの開くのを防止して捨てる。

【0006】

【実施例】 図1は包装体の斜視図で、1の包装体は円筒形に形成したビニールなどのような発水性のある材料からなり2の切り口に糸を封入し、その3の糸全体的一端は固定しているが、他端は図示するように包装体外周縁の一部の長手方向に形成させ、開放状態にできる2つのリング体にしておく。この3の糸全体は3aの第一リング体と3bの第二リング体からなり、その3aの第一リング体と3bの第二リング体の全長は15cmぐらいとし、2の切り口がわかりやすいように糸色を用い、3aの第一リング体と3bの第二リング体とは色わけし、3aの第一リング体の長さは包装体の部分から約9cm、3bの第二リング体は約6cmからなる生理用ナプキンの包装体である。本発明にかかるナプキン包装体の使用方法について述べる。図1に示すように4のナプキンを巻き寿司のようにロール式に巻いて1の包装体に封入すると、6の手に握った7の包装体に入ったナプキンは図2に示すようにすっぽり手の中に入り、他の人にはナプキンを握っているかどうかかわからない状態になり、7の包装体に入ったナプキンは従来の物よりもかさ小さく携帯に便利な大きさとなる。

【0007】 図3は7の包装体に入ったナプキンを持ち3aの第一リング体を引き、2の切り口を切っている図である。ナプキンを取り出した後の1の包装体は図4に示すように1の包装体と3aの第一リング体、3bの第二リング体でちょうどショールダーバッグのような形態になる。使用後の4のナプキンを経血のついていない方を内側にして巻きすしのようにロール式に巻いた4のナプキンを図5に示すように3aの第一リング体のショールダーバッグの取っ手のような部分の輪の中に入れて、糸を1～3回輪ゴムを掛けるように回す。こうすると図6に示すように使用後の4のナプキンは開かず経血のついた側が見えず、しかもかさ小さくして捨てられる。また、包装体も再利用して使える。

【0008】 8は洋服であるが、図7のように3bの第二リング体を用いて指に掛けて8の洋服の袖口に隠して

持ち運ぶことができる。また、3 aの第一リング体か3 bの第二リング体のいずれかをを用いると、図8のように8の洋服のボタンなどに掛けられる。さらに、図9のように3 aの第一リング体を用いると持ち運びに便利で、かつ、6の手の中に握っていることが分からない。トイレにナプキンを置く棚が無くて、これらのいろいろの利用方法により、手が自由になり安心してパンツの上げ下ろしからナプキン交換行為が容易にできる。

【0009】

【発明の効果】以上説明したように本発明の包装体とその処理方法は、月経期間であることが他人に知られず、プライバシーの保持ができ、女性が月経を気にせず活発に行動できる。また、汚いトイレにナプキンを置くことなく清潔に取り換えられ、包装体をごみとせず再利用することにも意義がある。さらに、使用後のナプキンのかさも小さく捨てられトイレ環境を衛生的に守れるなどの効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の包装体の斜視図。

【図2】包装体に入ったナプキンを手に握っている図。

【図3】包装体に入ったナプキンを持ち第一リング体を引き、切り口を切っている図。

【図4】使用後の包装体と第一輪具体および第二リング

体の図。

【図5】使用後のナプキンをロール式に巻き第一リング体の輪の中に入れてある図。

【図6】使用後のナプキンを第一リング体の輪の中に入れて輪ゴムのように巻いた図。

【図7】第二リング体を用い洋服の袖口にナプキンを隠している図。

【図8】第二リング体を用いナプキンを洋服のボタンに掛けた図。

【図9】第一リング体を用いナプキンを握り手の甲の方から見た図。

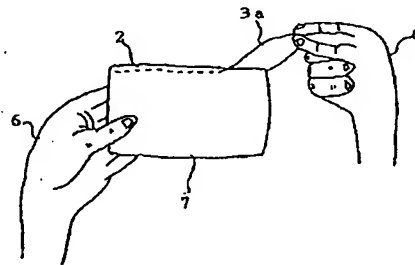
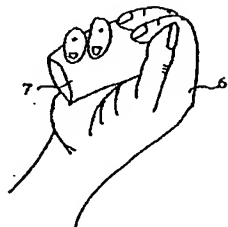
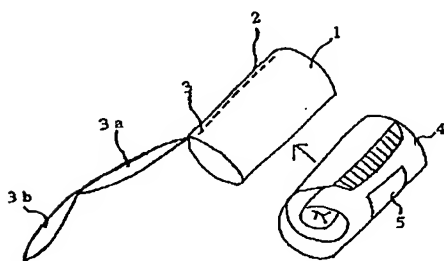
【符号の説明】

- 1 包装体
- 2 切り口
- 3 糸全体
- 3 a 第一リング体
- 3 b 第二リング体
- 4 ナプキン
- 5 ナプキンのテープ
- 6 手
- 7 包装体に入ったナプキン
- 8 洋服

【図1】

【図2】

【図3】

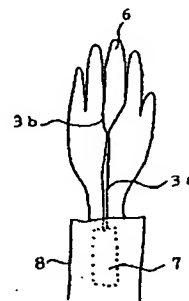
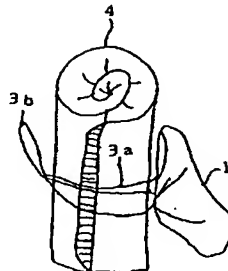
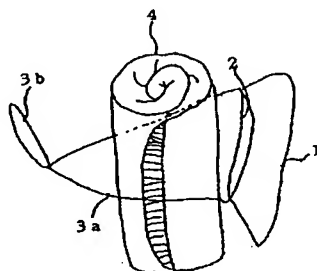
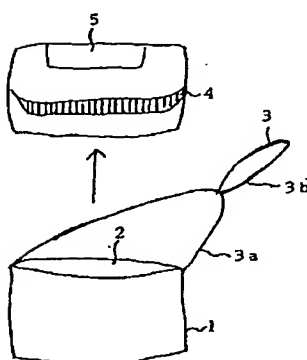


【図4】

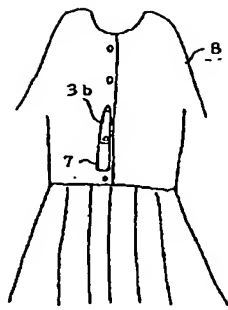
【図5】

【図6】

【図7】



【図8】



【図9】

